



地域発の新しいエネルギーを完成させる

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

私たちの同業者である、四国の株式会社住共クリーンセンター様を訪問、見学しました。住共様が先だって当社を訪問されたことへの返礼と、この会社の先進的な考え方や独自の技術を学ぶという目的でした。

吉田社長様ほか5名もの幹部社員の方々から、熱心に詳しい説明を受け、学ぶことの多い訪問でした。皆さんが技術職であり、品質については確たる信念をお持ちで、例えば水分1%以下という厳しい品質基準を順守しておられる。くまなく工場を見学させていただいた。

課題として、燃料油成分中の灰分を限りなく0%に近づける。もう一つはエマルジョンタイプの新しい燃料を開発する。そしてそのエネルギーの価値を高め、地域の経済にもっと貢献したいという将来計画を掲げられている。

もともとこの会社は、愛媛県という地域に強く根ざした会社であり、両社の地域に貢献するという理念は同一と考えます。会社の理念が同じであれば、今回の相互訪問以降お互いの交流と理解をもっと進め、商品開発等を共に考え、アイデアを交わし、共同で開発して

いく可能性は大いにあります。

この会社は、さまざまな分野の専門性の高い技術者を擁している。その上、再生油製造技術はもとより、親会社の住友共同電力(株)の微粉炭燃焼による発電事業によって培われた燃焼技術、省エネ技術、環境負荷低減技術など、学ぶべき多くの知見をお持ちである。

反面私たちは、前記のエマルジョン燃料、灰分含有量を低減した燃料は開発済み。小型ボイラーなどの小規模な燃焼に関する、僅かながら技術と経験を持っている。再生油とバイオ再生油のJIS化に取り組んでいる。島根県産業技術センターとの連携を長く続けている。

このような両社の良さをお互いに補完し合えば、両社の新商品開発とか燃焼技術の向上にスピードが増す。しかもこれを契機に組合員の他社へ広げ、裾野を広げていけば、業界全体のレベルアップが可能になる。

そこで始めて私たちの業界が全国的に、「地域から出る廃油という貴重な石油資源を、地域のために役立つ新しいエネルギーを完成させる」という夢の実現が可能になります。

私はこう考え、こう実行します

【安原】技術的な分野も興味をもって知識を広げます。

【松下】新しい商品を開発し、1日でも早く新しいお客さまにお届けする。

【河上】地域に役立つエネルギーを使用する。

【岸本】地域の経済に貢献できるようにサービスの質、技術力を上げる。

【福間】この地域から出る廃油をこの地域のために1Lでも渡さない。

【木村】お客様の要望に叶うよう様、安定した製造量を保つ。

【吾郷】私は、お客さまに喜んで頂くために、今できることを率先して実行します。

【木村憲】今の業務にもっと集中する。

【石橋】他社の良いところを取り入れて、技術を高めて行く。

【榎並】地元のお客さまに必要なとされるように、情報提供、情報収集をしていきます。

【山口】私は、地域から出る廃油は貴重な石油資源と思い、大切に

に収集運搬します。

【大國】自身の技術レベルを向上させる。

【松本】皆でアイデアを出し協力し、お客さまに必要な社員になります。

【横地】山陰から新しい商品や、技術を発信できる様に、日々、自分の業務を確実にこなしていきます。

【植尾】地元のお客さまに安心を与えるよう、技術を向上させる。

【高橋】私は、考える時間を10分間作ります。

【長谷川】廃油収集で少しでも地域に貢献できるよう努力します。

【小村】新しいKYSのやり方はないか考えたり、多くの人から学び実行していく。

【恩村】地域に貢献するという会社の理念を常に念頭に置き業務に励みます。

【藤原拓】お客さまに必要なとされる社員を目指します。

【藤原大】もっと周りの状況を確認し、作業を行っていきます。

【金森】地域貢献の為にチームワークを大切にします。

【中村】現場にて、整理・整頓・清潔・清掃・安全（KY）を徹底し、安全作業が出来る様に、常にチェックし作業を実行します。

【清水】私も色々な人から学び、それをもっと役立てるように努力します。

【田中】様々な技術を吸収して、地域に貢献できるエンジニアになりたいと思います。

【足立】地域のお客さまに感謝の気持ち、与えて頂いた仕事に取り組めます。

【長谷川真】報・連・相を密にし、協力を怠らない。

【長野】社員と協力しあって、互いのレベルアップをはかる。



「トゲナシアザミ」
十一月に撮影

出雲養護学校学習発表会を参観して

出雲養護学校の学習発表会を参観させていただきました。校長先生の次のような挨拶で始まりました。「この発表会は日頃の学習の成果を披露する場です。校外学習で訪れた神話博を参考に、出雲神話をモチーフにした出し物があります。夏休み明けから練習を始めました。進行役も生徒達が行います」

今年は、古事記編纂1300年でしまね神話博が開催されました。校長先生のお話のように、それにちなんだ出し物が多く、演出がすばらしく、また、演技も日頃の学習の成果が十分にでていたと感じました。皆さんの一所懸命な姿に涙が出るくらい感動をいただきました。

この発表会の成果は、「すごい！」と思います。皆様、感動をありがとうございます。(長野)

オープニングの和太鼓演奏



新入社員紹介

田中くん



趣味・特技：スキー、釣り、水泳
山陰で唯一、再生燃料を作っている会社ということで興味を持ちました。廃油収集業務では、お客様とのコミュニケーションをとることが大事だと思います。お客様から非常に信頼されているように思います。

また、工事部の地下タンク定期点検では、危険物（油）を扱い、漏洩が無いかを検査する仕事です。危険と隣り合わせで、とても神経をつかう仕事だと感じました。

社員の皆さんがとても仲が良く、早く皆さんに溶け込んでいきたいと思います。

挨拶をきちんとし、工事部で使用する工具を覚え、現場で実践できるよう努めます。



ホトトギス
花にある斑点模様が、鳥のホトトギスの胸にある模様と似ていることからこの名がつけました。

沖縄研修旅行

ひめゆりの塔は2度目の訪問ですが、戦争の恐ろしさ・悲惨さを目のあたりにし、現在の平和な生活に感謝せずにはられません。米軍の沖縄上陸戦が始まり、沖縄本島中部西海岸に上陸しました。読谷の海岸辺りにも上陸したようで、私たちの滞在先ホテルの立つところです。ここから悲惨な戦争が始まったとは信じがたいことです。

昭和20年5月下旬米軍が迫る中、突然の解散命令が出て、ひめゆりと呼ばれる学徒隊のほとんどが命を落としました。この惨状に胸が痛くなります。当時の「お国のために」として、積極的に戦場に向かわせた当時の教育の恐ろしさを感じます。

戦争の歴史の中で、東京大空襲、広島と長崎への原爆投下、そして沖縄戦は、私たちの心に残る最も悲惨な戦禍であると思います。日本は憲法第9条で戦争放棄を唱っていますが、直近で、竹島・尖閣諸島問題で、中国・韓国との関係が悪化しており、世界情勢がどのように変化

していくのか、心配です。

また、琉球王国の歴史にも触れたく、今帰仁城跡を見学しました。14世紀、3つの小国家が対立抗争しており、その1つといわれます。小高い山の上に長い城壁が残り、万里の長城を思わせるような景観でした。中国やタイなどの陶磁器が発掘され、当時、交易があったことがうかがえます。やがて、首里城主により落城してしまいましたが、首里城は450年にわたって、琉球王国に君臨しました。首里城は、琉球建築の粋を凝らした華麗な建物で、王国時代の威容を誇っています。



もし、今帰仁城が琉球王国を統一していたら、歴史はどう変わっていたか、思いをはせました。(長野)

ひめゆりの塔にて

お客様紹介

元 島根トヨタ自動車株式会社

相談役

千原 利信 様



いつもお元気な千原様

島根トヨタグループの歴史

島根トヨタグループの戦前・戦後の話を伺いました。

戦前については、昭和の初期から創業者野々村治一氏が、後に島根トヨタ自動車の販売を始める野々村延氏とともに、大東・松江・玉造・大社・大田・生山等を拠点にバス事業、ハイヤー及び貨物運送の事業を始めました。昭和11年から、山陰地区をエリアに日産自動車の販売を始めました。これが自動車販売の初めです。

戦後の昭和21年に、トヨタ自動車と販売契約を結び、トヨタ車の販売を主体としながら、別会社で三菱自動車や日野自動車の販売を開始しました。

当時、トヨタ自動車の神谷正太郎という人物が、戦後いち早く全国の自社ディーラー網再構築に乗り出し、戦前は他メーカー代理店であった地方ディーラーにも熱心に働きかけてトヨタの販売網強化に重要な役割を果たしています。また、トヨタ自動車の本社があった愛知県豊田市は、戦禍にあわず、工場が丸々残ったということもトヨタ車と契約した一因であると想像されます。

また、自動車の販売以外に自動車に関連する事業は広く起業したいとの経営側の意向で、貨物自動車運送業、タクシー業、レンタカー事業、自動車学校の経営、そして自動車燃料の販売業を始めましたが、戦後、日本経済の拡大するに呼応して始められたもので一定の役割を果たしたので、現在は、トヨタ店、カローラ2社及びネットトヨタ店の計4社でトヨタ自動車の販売に集中しています。

このように、千原様は島根トヨタ自動車とともに歴史を刻まれ、地方にしながら、地域経済の発展の一役を担われたといっても過言ではないでしょう。(聞き手長野)

60年勤続の秘密

このたび、島根トヨタ自動車株式会社相談役を退かれた、千原様からお話を伺う機会を得ました。入社から60年の間、使命感をもって業務に打ち込んでこられました。また、若い時に結核を患いながらも元気で仕事を続けられた秘訣は、無理をしないということです。

無理をしないためには、段取りをきちんとし、何でも早めに手を打つことに心掛けていたこと。

また、いい人に恵まれて、ここまでやってこれたと周囲に対して感謝の言葉もいただきました。

千原様は、昭和27年25才の時に、現在の島根トヨタ自動車へ入社されました。

入社時社員は30名で、トヨタサービス工場と合併し、70名になりました。当時、松江、浜田、益田の3拠点で、車販売はトラックのみでした。月販約30台、全て法人向けで、その4割が益田で販売されたそうです。

千原様は「元気」なおかたです。元気というのは、健康な体といった意味だけではありません。明るい性格、前向きな考え、チャレンジ精神、目的に向かって打ち込む姿勢・・・人間としての中身の濃さといったものを感じます。

心身共に元気で、長く続いた秘訣をお聞きし、勉強させていただきました。



あこがれのクラウン

経営の本質を教えてください

去る7月24日に鳥取営業所の設備が完成して、施工業者様から引き渡された。この建設は、地元智頭町のT社に依頼したのが、平成23年11月30日で、途中様々な問題が起きたが、その都度T社様や周りの方々に助けて頂き、約8ヶ月かけて完成したのである。

当初の契約で、完成翌月の支払日に現金で支払うことになっており、担当者様に請求書の発行をお願いした。

ところが、8月に入っても請求書が来ない。確認の電話を入れたところ、返事が次の通りである。「完成はしたが、地盤等が安定するまでに不具合が発生することがあるので、3ヶ月間様子を見させて欲しい。請求はそれからにします。」

予期せぬ回答に理解するのにしばらく時間がかかった。請求は契約通りにすべきで、補修等の追加工事は発生したら対応するものであるというのが私の常識である。その常識を越えた対応だった。

「会社の真の支配者はお客である」そのお客様に徹底して好かれ、感動までして頂ける、経営の本質ではないかと思う。

この対応に感動すると同時に、それができる財務体質に感心させられた。

T社様のように、お客様の心を掴む経営ができるようにしたいと、強く思った体験でした。(安原)

ディズニーサービスの神様が教えてくれたこと



ディズニーランドでのサービスが、ただ困っている人を助けること、手伝ってあげることでなく、質問に答えてあげることでなく、キャストの生き方を反映し、ゲストの裏側をも読みとっていることがわかりました。

人が心の奥深くで求めていることは何か？それをくみ取って与えるものがサービスであり、ひとり勝手に満足し、押しつけてはいけません。言葉として表すのは簡単ですが、もしかしらな出会うことのないゲストとキャストの間のサービスが、このような深いサービスであることに驚きました。

そして、サービスの真髄は、「相手を思いやる心」。最初の話を聞いて、最近の私がそれを忘れていたことに気がつきました。

この本に書き切れないほどのディズニーのサービスの神話があると思います。私もそれにふれ、私自身が人に最高のサービスを与えられるようになりたいと思います。(足立)



鳥取営業所に除雪機が来ました。今年の冬は全てが人力だったので、とても助かります。コンパクトでとても使いやすい感じです。また、この除雪機のおかげで新しいお客さまとの縁ができました。

大切に使います。ありがとうございます。(大國)

元気の出る言葉

中村天風師



嫌いな相手には、
こつめて親切にしよう

自分自身が好き嫌いがあるのは仕方ないから、自分もまた、他人から好き嫌いに扱われる人にならなくていい。人間にならなくていい。向こうが相手にしなくても途中でやめず、努力すること。そうしたら必ずうまくいく。(長野)



「ウメバチソウ」雄しべと雌しべがとても芸術的でその並び方の美しいと。花の形が天満宮の紋章の梅鉢紋に似るのでこの名がつけられたそうです。

賢い人ほど失敗する

要領が悪い人でも成功するヒント
高原慶一 著 PHP 研究所刊



ユニチャームを興された高原慶一朗氏の書かれた、この欄に何度か登場する本です。2006年に初刊本が出て、日本経営合理化協会のセミナーで学び、表紙にご本人から自筆でサインをしていただきました。以来毎日一章ずつ読むことを繰り返して、丁度6年になりました。

約40年前、一人の土木作業員であった私に、創業者から突然「この会社をやれ！」と命じられました。経営のことなど全く判らず途方に暮れた私に、ご縁があった小野会長より、「勉強しなさい」と「師匠を持ちなさい」と二つのアドバイスをいただきました。

経営がままならないその当時、東京まで勉強に行きたいと創業者へおそるおそる言い出すと「行くだわな。勉強すーだわな。」と、出雲弁で肩を押してもらったことを今でも覚えています。

以来高原慶一朗氏、稲盛和夫氏など成功された多くの経営者の方々。そして中村天風師を学ぶ幸運に恵まれました。師匠達に近づいたとは決して言えませんが、これからも学ぶことを続けます。

この本は経営書ではなく、リーダーたるべき人の考え方、行動がやさしく書いてあります。

成長の途上にある限り、ひとはいつも「青春」である。希望と情熱を失うことなく、一生勉強、一生感動、一生青春、一生危機感の、いつまでも若い心を持ちつづけよう。
[新装版 P208]

編集後記

先日、マウリッツハイツ美術館展を見学する機会を得て、フェルメールの真珠の耳飾りの少女を鑑賞しました。フェルメールの絵画はあまり出回っていません。今回の絵画は、マウリッツハイツ美術館の至宝であり、「オランダのモナリザ」とも称されています。この絵画だけ特別に展示室が設けてあり、その価値と人気のすごさを実感しました。何かを語りかけてくるような少女のまなざしがとても愛くるしく、鑑賞する人を皆とりこにしてしまうでしょう。また、頭に巻いているターバンのアクアマリンの青色がこの絵画の中で際立ち、見る人の眼に焼き付けられます。耳飾りの真珠は黒真珠でしょうか。上品に光を放ち、より重厚さを増しています。このような作品を真近かで鑑賞することができ、こころ満たされた一日になりました。
(長野)



「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。書店での取扱が無いため、出版局から取り寄せてお届けします。本代は¥1,890です。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡しただけでも結構です。正解者の中から抽選で1名に新春の和菓子を差し上げます。クイズの締切は12月末です。奮ってご応募下さい。

Q:八岐大蛇伝説(やまたのおろち)があるのは、何という川でしょう?



大蛇(おろち)の神楽

先月号の答は、「いまばりゆるきゃら パリイさん」でした。米子市 角様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着情報

- ・新版 敬天愛人 ゼロからの挑戦 稲盛和夫 PHP研究所 山根社長寄贈
- ・永遠の0 百田尚樹 講談社
- ・海賊とよばれた男 上 百田尚樹 講談社
- ・海賊とよばれた男 下 百田尚樹 講談社
- ・日経TRENDY(トレンディ) 2012年12月号 日経BP社

発行日: 毎月10日
発行: 690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp
印刷: 授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします 本誌で紹介した蔵書本等、広く皆様にお貸し致します。営業マンや当編集部へ遠慮無くお申し付け下さいませ。



2012
12月
Vol.235



『感動』

早起きしてお弁当を作ってくれて ありがとう



石橋社員(右)と小村社員

二人とも新しい目標を掲げて、第二の人生へスタートしました。これからも大いに役立っていただきたい。



「これからもよろしく」と中村社員

今年10月、11月に定年を迎えた二人の社員がいます。中村さんと石橋さんです。中村さんは13年、石橋さんは32年勤続です。

めでたく定年の日を迎え、石橋社員から「家内が毎日、早朝から弁当を作ってくれて、ありがとうと言いたい。もちろん弁当はいつも美味しかったし、夏には腐らないよう保冷剤を入れて、気を遣ってくれた。家族がいたから、がんばれた。家族に感謝！」と家族への感謝の言葉がありました。

石橋社員は、今までを振り返り、次のように語った。「大型自動車に乗りたかったの、その運転免許がとれてうれしかった。神戸や淡路島などに廃油収集にいったものだ。きついことや楽しいことなどいろいろあったが、続けてきてよかった。これからも皆さんのお役にたきたい」

中村社員からも、次のようなメッセージをいただいた。「明日のことを考えて行動して下さい」自分がどうあるべきかを考えて仕事してほしい。私は歳をとり、身体は年相応になってきているが、常に勉強する気持ちで日々を過ごしている。これからもみなさんと一緒にやっていきたい」

二人とも、山陰興業を支えてきた社員だ。これからも私たちと一緒に働きたいというありがたい言葉をいただいた。今まで培った技術や知識を後輩達に継承して頂きたい。いつまでも現役という気持ちに感謝するとともに、感動をいただいた。
(長野)

